

## 日本人移住 120 周年記念 日秘大学国際会議 趣意書

### 背景・目的

国際社会のグローバル化に伴う大学のあり方の見直し・改革の動きが日本や南米でも進められている。ラテンアメリカ・カリブ海諸国においては、高等教育改革のための「アクションプラン 2018-2028」が採択され、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) への大学の貢献、教育の質保証、高等教育・科学技術研究と社会との関わりの深化、大学の国際化の推進、多様性の尊重と異文化間の対話が謳われている。

こうした背景のもと、本会議は日本とペルーの双方の大学の学長、副学長等代表者が一堂に会し、国際社会の一員として大学がどのように社会と関わり持続可能な発展に貢献するか、地域的・文化的バックグラウンドの異なる両国の大学がどのように連携を深めるかについて考えを共有し、議論する場として開催する。

ペルーはラテンアメリカ諸国で最初に日本と国交を樹立し、日本人移民を受け入れた。現在、日本在住のペルー人は 6 万人、ペルー在住の日系人は 10 万人を数え、それぞれの地において多文化共生の一翼を担っている。

2019 年は日本人ペルー移住の 120 周年にあたるとともに、前年の 2018 年はラテンアメリカ諸国の大学改革に大きなインパクトを与えた「コルドバ宣言 (Manifesto Liminar)」から 100 年目にあたる。この節目の機会を利用して、日本とペルーの大学の太平洋をまたいだ相互理解と学術交流を深めることを期待する。

**会議日程:** 2019 年 8 月 23 日 (金)

**場所:** サンマルコス大学文化センター (El Centro Cultural de la UNMSM) (リマ市内)

**テーマ:** 「SDGs 実現に向けた日本とペルーの大学の役割」

— 大学における多様性・多文化共生と国際化 —

### 期待される成果:

本会議を通して両国の大学の教育研究に関する取り組み・関心・リソースを共有し、今後の具体的な教育研究連携のきっかけを作り、

- 1) 大学間交流プログラムの促進
- 2) 継続的な両国の大学間の交流・協働

の実現につながることが期待される。

**日本人移住 120 周年記念 日秘大学国際会議**  
**次第(2019 年 5 月現在)**

**開催日:** 2019 年 8 月 23 日(金)

**会場:** サンマルコス大学文化センター (El Centro Cultural de la UNMSM) (リマ市内)

**主催:** 日秘大学国際会議実行委員会

日本側事務局: 筑波大学、在ペルー日本国大使館

ペルー側事務局: サンマルコス大学、RUNAi(ペルー国立大学国際化ネットワーク)

**共催、後援、協力、協賛(調整中):**

文部科学省、外務省、国立大学協会、国公立大学団体国際交流担当委員長協議会、駐日ペルー共和国大使館ほか

**出席予定者:** 日本およびペルーの大学の学長等代表者

**プログラム(案)**

2019 年 8 月 23 日(金)

- ・開会挨拶
- ・来賓紹介
- ・基調講演
- ・ディスカッション

「SDGs 実現に向けた日本とペルーの大学の役割」

ー大学における多様性・多文化共生と国際化ー

- ・総括・共同宣言
- ・閉会挨拶

2019 年 8 月 24 日(土)

- ・エクスカーシオン(国立ペルーアマゾンニア大学(Universidad Nacional de la Amazonia Peruana) (イキトス市))

※8 月 22 日(木)、24 日(土)に日本留学フェアを開催する予定。